

注3

大学番号：025

[令和2年度設置]

計画の区分：学部の設置

注1

届出

国際医療福祉大学 福岡薬学部 薬学科

注2

【届出】設置に係る設置計画履行状況報告書

学校法人国際医療福祉大学
令和2年5月1日現在

作成担当者

担当部局（課）名 大川キャンパス事務部

職名・氏名 カチョウ ヨコミゾ キミノリ
課長 横溝 公紀

電話番号 0944-89-2031

（夜間） 0944-89-2031

F A X 0944-89-2148

e-mail k.yokomizo@iuhw.ac.jp

（注）1 「計画の区分」は設置時の基本計画書「計画の区分」と同様に記載してください。

2 大学院の場合は、表題を「〇〇大学大学院・・・」と記入してください。

設置時から対象学部等の名称変更があった場合には、表題には現在の名称を記載し、その下欄に（ ）書きにて、設置時の旧名称を記載してください。

例） 〇〇大学 △△学部 □□学科

（旧名称：◇◇学科（平成◇◇年度より学科名称変更））

表題は「計画の区分」に従い、記入してください。

例）

- ・大学の設置の場合：「〇〇大学」
- ・学部の設置の場合：「〇〇大学 △△学部」
- ・学部の学科の設置の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科」
- ・短期大学の学科の設置の場合：「〇〇短期大学 △△学科」
- ・大学院設置の場合：「〇〇大学大学院」
- ・大学院の研究科の設置の場合：「〇〇大学大学院 〇〇研究科」
- ・大学院の研究科の専攻の設置等の場合：「〇〇大学大学院 〇〇研究科 〇〇専攻（修士課程）」
- ・通信教育課程の開設の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科（通信教育課程）」

3 大学番号の欄については、調査対象大学等に対して別途発出する、事務連絡「令和2年度の履行状況報告書の提出について（依頼）」の別紙に記載のある大学番号を記載してください。

目次

福岡薬学部

＜薬学科＞	ページ
1. 調査対象大学等の概要等	1
2. 授業科目の概要	6
3. 施設・設備の整備状況、経費	11
4. 既設大学等の状況	15
5. 教員組織の状況	19
6. 附帯事項等に対する履行状況等	32
7. その他全般的事項	34

1 調査対象大学等の概要等

(1) 設 置 者

学校法人国際医療福祉大学

(2) 大 学 名

国際医療福祉大学

(3) 調査対象大学等の位置

〒831-8501

福岡県大川市榎津137-1 (栃木県大田原市北金丸2600-1)

- (注) ・対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合、本部の位置を()書きで記入してください。
・対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には、複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載してください。

(4) 管理運営組織

職 名	設 置 時	変 更 状 況	備 考
理 事 長	(タカギ クニノリ) 高木 邦格 (平成7年4月)		
学 長	(オオトモ クニ) 大友 邦 (平成28年4月)		
学 部 長	(タケダ ヒロシ) 武田 弘志 (令和2年4月)		
学科長等	(タケダ ヒロシ) 武田 弘志 (令和2年4月)		

- (注) ・「変更状況」は、変更があった場合に記入し、併せて「備考」に変更の理由と変更年月日、報告年度を()書きで記入してください。

(例) 令和元年度に報告済の内容 → (元)

令和2年度に報告する内容 → (2)

- ・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更があれば、「変更状況」に赤字にて記載(昨年度までに報告された記載があれば、そこに赤字で見え消し修正)するとともに、上記と同様に、「備考」に変更理由等を記入してください。
- ・大学院の場合には、「職名」を「研究科長」等と修正して記入してください。
- ・大学独自の職名を設けていて当該職位がない場合は、各職に相当する職名の方を記載してください。

(5) 調査対象学部等の名称、定員、入学者の状況等

- (注) ・ 当該調査対象の学部等の学科または研究科の専攻等、定員を定めている組織ごとに記入してください(入試区分ごとではありません)。
- ・ なお、課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は、法令上規定されている最小単位(大学であれば「学科」、短期大学であれば「専攻課程」でも記載してください。その場合適宜各項目の表を追加してください。
- ・ 様式は、平成28年度開設の4年制の学科の完成年度を越えて報告する場合(令和2年度までの5年間)ですが、完成年度を越えていない場合は修業年限に合わせて作成してください。(修業年限が4年以下の場合には欄を削除し、5年以上の場合には、欄を設けてください。)
- ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により、我が国の大学(大学院を含む。)、短期大学、高等専門学校、専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
- ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。

(5) - ① 調査対象学部等の名称等

調査対象学部等の 名称(学位)	学位又は学科 の分野	設 置 時 の 計 画				備 考
		修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	
福岡薬学部 薬学科 学士(薬学)	薬学関係	年 6	人 120	年次 人	人 720	

- (注) ・ 定員を変更した場合は、「備考」に変更前の人数、変更年月及び報告年度を()書きで記入してください。
- ・ 基礎となる学部等がある場合には、「備考」に基礎となる学部等の名称を記入してください。
- ・ 学生募集停止を予定している場合は、「備考」に「令和〇年度から学生募集停止(予定)」と記載してください。
- ・ 「学位又は学科の分野」には、「認可申請書」又は「設置届出書」の「教育課程等の概要(別記様式第2号(その2の1))」の「学位又は学科の分野」と同様に記入してください。

(5) - ② 調査対象学部等の入学者の状況

対象年度 区 分	平成28年度		平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度		平均入学定員 超 過 率	開設年度から 報告年度まで の平均入学定 員超過率	備 考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期			
A 入学定員	() []	() []	() []	() []	() []	() []	() []	() []	120人 0人 [-]	0人 [-]	1.09倍	-	
志願者数	() []	() []	() []	() []	() []	() []	() []	() []	1,267 0 [-]	0 [-]			
受験者数	() []	() []	() []	() []	() []	() []	() []	() []	1,242 0 [-]	0 [-]			
合格者数	() []	() []	() []	() []	() []	() []	() []	() []	391 0 [-]	0 [-]			
B 入学者数	() []	() []	() []	() []	() []	() []	() []	() []	131 0 [-]	0 [-]			
入学定員超過率 B/A									1.09				

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・ () 内には、編入学の状況について外数で記入してください。なお、編入学を複数年次で行っている場合には、(())書きとするなどし、その旨を「備考」に付記してください。該当がない年度には「-」を記入してください。
- ・ 転入学生は記入しないでください。
- ・ []内には、留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
- ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
- ・ 「入学定員超過率」については、各年度の春季入学とその他を合計した入学定員、入学者数で算出して

ください。なお、計算の際は小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで記入してください。

- ・「平均入学定員超過率」には、開設年度から報告年度までの入学定員超過率の平均を記入してください。
計算の際は「入学定員超過率」と同様にしてください。なお、完成年度を越えて報告書を提出する大学等は、報告年度（令和2年度）から起算した修業年限に相当する期間の入学定員超過率の平均を記載してください。
- ・「開設年度から報告年度までの平均入学定員超過率」は、完成年度を越えて報告書を提出する大学等のみ記入してください。完成年度を越えていない場合は「－」を記入してください。

(5)－③ 調査対象学部等の在学者の状況

学 年	令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度		備 考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	
1 年次	131 [-] (-)	- [-] (-)	[] [] ()	[] [] ()	[] [] ()	[] [] ()	[] [] ()	[] [] ()	[] [] ()	[] [] ()	
2 年次			[] [] ()	[] [] ()	[] [] ()	[] [] ()	[] [] ()	[] [] ()	[] [] ()	[] [] ()	
3 年次					[] [] ()	[] [] ()	[] [] ()	[] [] ()	[] [] ()	[] [] ()	
4 年次							[] [] ()	[] [] ()	[] [] ()	[] [] ()	
計							[] [] ()	[] [] ()	[] [] ()	[] [] ()	

・令和2年5月1日 公表

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・ []内には、留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年度には「－」を記入してください。
 - ・ ()内には、留年者の状況について、内数で記入してください。該当がない年には「－」を記入してください。
 - ・ 編入学生や転入学生も含めて記入してください。その際、備考欄に人数の内訳を記入してください。
 - ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期（春季入学以外の学期区分を設けている場合）に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「－」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
 - ・ 「計」については、各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学者数、留学生数を記入してください。

(5) - ④ 調査対象学部等の退学者等の状況

区 分 対象年度	在学者数 (b)	退学者数 (a)	内 訳			主な退学理由 (留学生の理由は[]書き)
			入学した年度	退学者数		
					うち留学生数	
令和2年度	131 人	0 人	令和2年度	人	人	
令和3年度	人	人	令和2年度	人	人	
			令和3年度	人	人	
令和4年度	人	人	令和2年度	人	人	
			令和3年度	人	人	
			令和4年度	人	人	
令和5年度	人	人	令和2年度	人	人	
			令和3年度	人	人	
			令和4年度	人	人	
			令和5年度	人	人	
令和6年度	人	人	令和2年度	人	人	
			令和3年度	人	人	
			令和4年度	人	人	
			令和5年度	人	人	
			令和6年度	人	人	
合 計		0 人		0 人	0 人	

(注)・ 数字は、報告年度の5月1日現在の数字を記入してください。

- ・ 各対象年度の在学者数については、対象年度の人数を記入してください。(在学者数から退学者数を減らす必要はありません。)
- ・ 内訳については、退学した学生が入学した年度ごとに記入してください。また、留学生数欄の人数については、退学者数の内数を記入してください。
- ・ 在学者数、退学者数には編入学生や転入学生も含めて記入してください。
- ・ 「主な退学理由」は、下の項目を参考に記入してください。その際、「就学意欲の低下(○人)」というように、その人数も含めて記入してください。
 (記入項目例)・就学意欲の低下 ・学力不足 ・他の教育機関への入学・転学 ・海外留学
 ・就職 ・学生個人の心身に関する事情 ・家庭の事情 ・除籍 ・その他

(5) -⑤ 調査対象学部等の年度ごとの退学者の割合

【令和2年度】

$$\frac{\text{令和2年度の退学者数(a)}}{\text{令和2年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{131} = \boxed{0} \%$$

【令和3年度】

$$\frac{\text{令和3年度の退学者数(a)}}{\text{令和3年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{0} = \boxed{} \%$$

【令和4年度】

$$\frac{\text{令和4年度の退学者数(a)}}{\text{令和4年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{0} = \boxed{} \%$$

【令和5年度】

$$\frac{\text{令和5年度の退学者数(a)}}{\text{令和5年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{0} = \boxed{} \%$$

【令和6年度】

$$\frac{\text{令和6年度の退学者数(a)}}{\text{令和6年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{0} = \boxed{} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

2 授業科目の概要

<福岡薬学部 薬学科>

(1) ー① 授業科目表

【認可時又は届出時】

科目 区分	授業科目の名称	配 当 年 次	単位数			専任教員等の配置					兼任・ 兼担
			必修	選択	自由	教 授	准 教 授	講 師	助 教	助 手	
総合 教育 科目	人間 系	文学論	1前	2							兼1
		演劇論	1後	1							兼1
		心理学	1前	2							兼1
		哲学	1前	2							兼1
		コミュニケーション概論	1前	2							兼1
		雑談と傾聴～話す力と聴く力～	2前	2							兼1
		人間学	1前	2							兼1
		倫理学	1後	2							兼1
		宗教学	1後	2							兼1
		日本近現代史	1後	2							兼1
	社会 系	文化人類学	1前	2							兼1
		教育学	1後	2							兼1
		死生学-死を通して生を考える-	1前	2							兼1
		法学	1前	2							兼1
		日本国憲法	1前	2							兼1
		社会学	1後	2							兼1
		国際関係論	1前	2							兼1
		国際医療福祉論	1後	2							兼1
		組織運営管理論	1前	2							兼1
		海外保健福祉事情Ⅰ（講義）	2前	1							兼1
		海外保健福祉事情Ⅱ（実習）	2通	1							兼1
	自然・ 情報 系	統計学	1後	2							兼1
		数学	1後	2							兼1
		物理学	1前	2		1					兼1
		化学	1前	2			1				兼1
		生物学	1前	2							兼1
		情報処理	1前	1							兼1
		生命倫理	1後	2							兼1
		医学／医療史	1前	2							兼1
	総合 系	大学入門講座Ⅰ（基礎）	1前	1							兼1
		大学入門講座Ⅱ（展開）	1前	1							兼1
		郷土論～大川学～	1前	1							兼1
		医療福祉教養講義	1後	1							兼1
		メディカルマナー入門	1前	2							兼1
	外国 語 系	英語講読1（Primary）	1後	1			1				兼1
		英語講読2（Basic）	2前	1			1				兼1
		英語CALL1（Primary）	1前	1			1				兼1
		英語CALL2（Basic）	2後	1			1				兼1
		英会話	1後	1							兼1
		実用英会話	2前	1							兼1
		医学英語Ⅰ（入門）	1前	1							兼1
		医学英語Ⅱ（応用）	1後	1							兼1
		資格英語1（Primary）	1前	1							兼1
		資格英語2（Basic）	1後	1							兼1
		中国語	1通	2							兼1
		実用中国語会話	2前	1							兼1
		韓国語	1通	2							兼1
		実用韓国語会話	2前	1							兼1
外国 語 系	日本 語 科目	作文・読解Ⅰ（入門）	1前	1							兼1
		作文・読解Ⅱ（応用）	1前	1							兼1
		作文・読解Ⅲ（完成）	1後	1							兼1
		文法・語彙Ⅰ（入門）	1前	1							兼1

【令和2年度】

科目 区分	授業科目の名称	配 当 年 次	単位数			専任教員等の配置					兼任・ 兼担
			必修	選択	自由	教 授	准 教 授	講 師	助 教	助 手	
総合 教育 科目	人間 系	文学論	1前	2							兼1
		演劇論	1後	1							兼1
		心理学	1前	2							兼1
		哲学	1前	2							兼1
		コミュニケーション概論	1前	2							兼1
		雑談と傾聴～話す力と聴く力～	2前	2							兼1
		人間学	1前	2							兼1
		倫理学	1後	2				1			兼1
		宗教学	1後	2							兼1
		日本近現代史	1後	2							兼1
	社会 系	文化人類学	1前	2							兼1
		教育学	1後	2							兼1
		死生学-死を通して生を考える-	1前	2							兼1
		法学	1前	2							兼1
		日本国憲法	1前	2							兼1
		社会学	1後	2							兼1
		国際関係論	1前	2							兼1
		国際医療福祉論	1後	2							兼1
		組織運営管理論	1前	2							兼1
		海外保健福祉事情Ⅰ（講義）	2前	1							兼1
		海外保健福祉事情Ⅱ（実習）	2通	1							兼1
	自然・ 情報 系	統計学	1後	2							兼1
		数学	1前	2							兼1
		物理学	1前	2				4			兼1
		化学	1前	2					1		兼1
		生物学	1前	2					1		兼1
		情報処理	1前	1							兼1
		生命倫理	1後	2					1		兼1
		医学／医療史	1前	2							兼1
	総合 系	大学入門講座Ⅰ（基礎）	1前	1							兼1
		大学入門講座Ⅱ（展開）	1前	1							兼1
		郷土論～大川学～	1前	1							兼1
		医療福祉教養講義	1後	1							兼1
		メディカルマナー入門	1前	2							兼1
	外国 語 系	英語講読1（Primary）	1後	1				1			兼1
		英語講読2（Basic）	2前	1				1			兼1
		英語CALL1（Primary）	1前	1				1			兼1
		英語CALL2（Basic）	2後	1				1			兼1
		英会話	1後	1				1			兼1
		実用英会話	2前	1							兼1
		医学英語Ⅰ（入門）	1前	1				1			兼1
		医学英語Ⅱ（応用）	1後	1				1			兼1
		資格英語1（Primary）	1前	1							兼1
		資格英語2（Basic）	1後	1							兼1
		中国語	1通	2							兼1
		実用中国語会話	2前	1							兼1
		韓国語	1通	2							兼1
		実用韓国語会話	2前	1							兼1
外国 語 系	日本 語 科目	作文・読解Ⅰ（入門）	1前	1							兼1
		作文・読解Ⅱ（応用）	1前	1							兼1
		作文・読解Ⅲ（完成）	1後	1							兼1
		文法・語彙Ⅰ（入門）	1前	1							兼1

【認可時又は届出時】

		授業科目の名称	配 当 年 次	単位数			専任教員等の配置					兼 任 ・ 兼 担	
				必 修	選 択	自 由	教 授	准 教 授	講 師	助 教	助 手		
総合教育科目	外国語科目	留文法・語彙Ⅱ（応用）	1前		1							兼1	
		留文法・語彙Ⅲ（完成）	1前		1							兼1	
		留発表・討論Ⅰ（応用）	1前		1							兼1	
		留発表・討論Ⅱ（完成）	1後		1							兼1	
		留医療福祉専門漢字	1前		1							兼1	
		留医療福祉専門語彙	1後		1							兼1	
		留日本語基礎Ⅰ（初級）	1後			1						兼1	
		留日本語基礎Ⅱ（初級）	1後			1						兼1	
	体育科目	健康科学理論	1後		1							兼1	
		健康科学実践	1後		1							兼1	
小計(65科目)			－	24	70	2	1	1			兼32		
専門基礎科目	学部共通	公衆衛生学	3後	2			1		2				
		救急医学(救命救急を含む)	2前		1		1						
		リハビリテーション概論	1前		2							兼1	
		微生物と病気	1後		2							兼1	
		関連職種連携論	2後	2			1					兼1	
		ケアマネジメント論	2前		1							兼1	
		保健医療福祉制度論	1前		2							兼1	
		臨床心理学概論	1後	2								兼1	
		関連職種連携ワーク	3前	1					1			兼1	
		関連職種連携実習	5前		1				1			兼1	
		リスクマネジメント論	3前		2							兼1	
	薬学科	薬学演習Ⅰ(物理系等)	2後	1					1				
		薬学演習Ⅱ(化学系等)	3前	1						1			
		薬学演習Ⅲ(生物系等)	3後	1							1		
		薬学計算	2前	1			1						
		病原微生物学	3前	2				1					
		コミュニケーション実習	2前	1			2		2	1			
		基礎薬学実習Ⅰ(物理)	1後	1			2	1	1	1			
		基礎薬学実習Ⅱ(生物)	1後	1			2	3					
		小計(19科目)			－	16	11	0	8	4	3	3	0
	専門教育科目	専門科目	薬学概論	1後	2			1					
			有機化学Ⅰ（脂防族化合物1）	1後	2				1				
			有機化学Ⅱ（脂防族化合物2）	2前	2				1				
			有機化学Ⅲ（芳香族化合物）	2後	2			1					
			生薬学	2前	2								兼1
			天然物化学	2後	1								兼1
			医薬品構造化学	3後	1				1				
			分析化学Ⅰ（溶液中の化学平衡と滴定法）	1後	2			1					
			分析化学Ⅱ（機器分析、分離分析および臨床分析）	2前	2			1					
			医薬品構造解析	2後	2			1		1	1		
			薬品物理化学Ⅰ（物性とエネルギー）	1後	2				1				
			薬品物理化学Ⅱ（平衡と変化）	2前	2				1				
放射化学			2前	1					1				
生化学Ⅰ（生体分子）			1後	2				1					
生化学Ⅱ（生体エネルギー・代謝）			2前	2			1						
分子生物学Ⅰ（遺伝情報・細胞内情報伝達）			2前	2				1					
分子生物学Ⅱ（細胞間コミュニケーション・遺伝）			2後	2				1					
解剖生理学Ⅰ（外皮系、骨格系・筋肉系、循環器系）			1後	2			1						
解剖生理学Ⅱ（神経系、内分泌系）			2前	2			4					兼1	
解剖生理学Ⅲ（消化器系、呼吸器系、泌尿器系）			2後	2			4						
がん薬物療法学			3前	2				1					
ゲノム医療			3後	1				1					
化学療法学			3後	2			1	1					
免疫学			2後	2			1						
疾病と病態生理学Ⅰ（内分泌系、神経精神系疾患等）			2後	2				1					
疾病と病態生理学Ⅱ（循環器系疾患、消化器系疾患等）			3前	2			2	1					
疾病と病態生理学Ⅲ（呼吸器系疾患、代謝性疾患等）			3後	2			1	1					
薬理学Ⅰ（総論、末梢神経薬理等）			3前	2			1						
薬理学Ⅱ（中枢神経薬理、免疫・炎症薬理等）			3後	2				1					
薬理学Ⅲ（循環器薬理、消化器薬理等）			4前	2				1					
薬理学Ⅳ（呼吸器薬理、内分泌薬理等）			4前	2			1						
医薬品安全性学	4後	2			2								

【令和2年度】

		授業科目の名称	配 当 年 次	単位数			専任教員等の配置					兼 任 ・ 兼 担
				必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
総合 教育 科目	外国語系	留文法・語彙Ⅱ（応用）	1前		1							兼1
		留文法・語彙Ⅲ（完成）	1前		1							兼1
		留発表・討論Ⅰ（応用）	1前		1							兼1
		留発表・討論Ⅱ（完成）	1後		1							兼1
		留医療福祉専門漢字	1前		1							兼1
		留医療福祉専門語彙	1後		1							兼1
留日本語基礎Ⅰ（初級）		1後			1						兼1	
留日本語基礎Ⅱ（初級）		1後			1						兼1	
体育系	健康科学理論	1後		1							兼1	
	健康科学実践	1後		1							兼1	
		小計(65科目)	－	24	70	2	0	3	1	1		兼36
専門 基礎 科目	学部共通	公衆衛生学	3後	2			1		2			
		救急医学(救命救急を含む)	2前		1		1					
		リハビリテーション概論	1前		2							兼1
		微生物と病気	1後		2		3	2	1			兼1
		関連職種連携論	2後	2			1					兼1
		ケアマネジメント論	2前		1							兼1
		保健医療福祉制度論	1前		2							兼1
		臨床心理学概論	1後	2								兼1
		関連職種連携ワーク	3前	1					1			兼1
		関連職種連携実習	5前		1				1			兼1
		リスクマネジメント論	3前		2							兼1
	薬学科	薬学演習Ⅰ(物理系等)	2後	1					1			
		薬学演習Ⅱ(化学系等)	3前	1							1	
		薬学演習Ⅲ(生物系等)	3後	1								
		薬学計算	2前	1			1					
		病原微生物学	3前	2				1				
		コミュニケーション実習	2前	1			2		2	1		
		基礎薬学実習Ⅰ(物理)	1後	1			3	1	1	1		
		基礎薬学実習Ⅱ(生物)	1後	1			1	3				
			小計(19科目)	－	16	11	0	7	5	5	4	0
専門 教育 科目	専門科目	薬学概論	1前	2			5	3	2			
		有機化学Ⅰ（脂防族化合物1）	1後	2				1				
		有機化学Ⅱ（脂防族化合物2）	2前	2					1			
		有機化学Ⅲ（芳香族化合物）	2後	2			1					
		生薬学	2前	2								兼1
		天然物化学	2後	1								兼1
		医薬品構造化学	3後	1				1				
		分析化学Ⅰ（溶液中の化学平衡と滴定法）	1後	2			4					兼1
		分析化学Ⅱ（機器分析、分離分析および臨床分析）	2前	2			1					
		医薬品構造解析	2後	2			1		1	2		
		薬品物理化学Ⅰ（物性とエネルギー）	1後	2				1				
		薬品物理化学Ⅱ（平衡と変化）	2前	2				1				
		放射化学	2前	1					1			
		生化学Ⅰ（生体分子）	1後	2				1				
		生化学Ⅱ（生体エネルギー・代謝）	2前	2			1					
		分子生物学Ⅰ（遺伝情報・細胞内情報伝達）	2前	2				1	1			
		分子生物学Ⅱ（細胞間コミュニケーション・遺伝）	2後	2				1	1			
		解剖生理学Ⅰ（外皮系、骨格系・筋肉系、循環器系）	1後	2			1					
		解剖生理学Ⅱ（神経系、内分泌系）	2前	2			4					兼1
		解剖生理学Ⅲ（消化器系、呼吸器系、泌尿器系）	2後	2			5					
		がん薬物療法学	3前	2				1				
		ゲノム医療	3後	1				1				
		化学療法学	3後	2			1	1				
		免疫学	2後	2			1					
		疾病と病態生理学Ⅰ（内分泌系、神経精神系疾患等）	2後	2				1				
		疾病と病態生理学Ⅱ（循環器系疾患、消化器系疾患等）	3前	2			2	1				
		疾病と病態生理学Ⅲ（呼吸器系疾患、代謝性疾患等）	3後	2			1	1	1			
		薬理学Ⅰ（総論、末梢神経薬理等）	3前	2			1					
		薬理学Ⅱ（中枢神経薬理、免疫・炎症薬理等）	3後	2				1				
		薬理学Ⅲ（循環器薬理、消化器薬理等）	4前	2				1				
		薬理学Ⅳ（呼吸器薬理、内分泌薬理等）	4前	2			1					
		医薬品安全性学	4後	2			2					

【認可時又は届出時】

		授業科目の名称	配 当 年 次	単位数			専任教員等の配置					兼 任 ・ 兼 担
				必 修	選 択	自 由	教 授	准 教 授	講 師	助 教	助 手	
専 門 教 育 科 目	専 門 科 目	臨床検査医学	3前	2			1	1				兼1 兼1 兼1
		薬物治療Ⅰ（神経精神系疾患、内 分泌系疾患等）	4後	2			2					
		薬物治療Ⅱ（循環器系疾患、呼吸 器系疾患等）	4後	2			1					
		薬物治療Ⅲ（症例・病態解析）	6前	2			4	1				
		物理薬剤学	2後	2				1				
		製剤設計とDDS	4前	2			1					
		臨床薬学Ⅰ（調剤の基礎）	3後	2					1			
		臨床薬学Ⅱ（調剤の実践）	4前	2			1			3		
		臨床薬学Ⅲ（薬物療法の実践）	4後	2					1	3		
		臨床薬学Ⅳ（チーム医療・地域医療 の実践その前に）	4通	1			1		2	3		
		薬物動態学	3後	2			1					
		臨床薬物動態学	4前	2			1					
		医薬品情報学Ⅰ（医薬品情報の収集 と活用）	3前	2					1			
		医薬品情報学Ⅱ（EBMと臨床研究）	6前	1			1		2			
		衛生化学Ⅰ（食品・栄養）	2後	2			1					
		衛生化学Ⅱ（毒性・代謝）	3前	2			1					
		環境衛生学	3前	2			1					
		医療関係法規	4前	2			1		2			
		日本薬局方	3後	1								
		漢方医学Ⅰ（漢方の基礎）	3後	2								
		漢方医学Ⅱ（漢方の応用）	4前	1								
		OTC医薬品概論	3後	2						3		
		化学系薬学実習Ⅰ（有機合成）	2前	1			1	2		1		
		化学系薬学実習Ⅱ（天然資源）	2後	1			1	2		1		
		物理系薬学実習	2後	1			2	1	1	1		
		生物系薬学実習	4前	1			3	1				
		分子生物学実習	3前	1			2	3				
		臨床検査医学実習	3後	1			4	2				
		衛生系薬学実習	3前	1			2		2	1		
		早期体験実習	1後	1			2		3			
		医療系薬学実習Ⅰ（調剤の基 礎と情報収集）	3後	1			1		1	3		
		医療系薬学実習Ⅱ（調剤の実 践と服薬指導）	4前	1			1		1	3		
		病院・薬局事前実習Ⅰ（実務 実習に必要な基本的知識	4前	2			1					
		病院・薬局事前実習Ⅱ（実務 実習に必要な基本的技能	4後	2			1					
		病院・薬局実務実習Ⅰ（主に 病院での実習）	5通	10			1		1	3		
		病院・薬局実務実習Ⅱ（主に 薬局での実習）	5通	10			1		1	3		
		総合薬学演習Ⅰ（主として物 理・化学・生物・衛生）	6前	1			1	1	1	1		
		総合薬学演習Ⅱ（主として薬 理・薬剤・病態・実務）	6後	1			3	1	1			
		卒業研究	5通	4			19	0	0	0		
小計(71科目)		－	140	0	0	19	9	4	5		兼2	
合計(155科目)		－	180	81	2	19	9	4	5	0	兼42	
卒業要件及び履修方法												
卒業要件 190単位												
①総合教育 必修24単位 (人間系4単位、社会系4単位、自然・情報系11単位、総合系1単位、外国語系4単位)												
②専門基礎 必修16単位												
③専門 必修140単位												
④総合教育科目・専門教育科目 選択10単位												

【令和2年度】

		授業科目の名称	配 当 年 次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼担	
				必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
専門教育科目	専門科目	臨床検査医学	3前	2			1	1					兼1 兼1 兼1
		薬物治療Ⅰ（神経精神系疾患、内分泌系疾患等）	4後	2			3						
		薬物治療Ⅱ（循環器系疾患、呼吸器系疾患等）	4後	2			1			1			
		薬物治療Ⅲ（症例・病態解析）	6前	2			5	1	1	1			
		物理薬剤学	2後	2				1					
		製剤設計とDDS	4前	2			1						
		臨床薬学Ⅰ（調剤の基礎）	3後	2					1				
		臨床薬学Ⅱ（調剤の実践）	4前	2			1				3		
		臨床薬学Ⅲ（薬物療法の実践）	4後	2					1		3		
		臨床薬学Ⅳ（チーム医療・地域医療の実践その前に）	4通	1			1		2		3		
		薬物動態学	3後	2			1						
		臨床薬物動態学	4前	2			1						
		医薬品情報学Ⅰ（医薬品情報の収集と活用）	3前	2					1				
		医薬品情報学Ⅱ（EBMと臨床研究）	6前	1			1		2				
		衛生化学Ⅰ（食品・栄養）	2後	2			1						
		衛生化学Ⅱ（毒性・代謝）	3前	2			1						
		環境衛生学	3前	2			1						
		医療関係法規	4前	2			1		2				
		日本薬局方	3後	1									
		漢方医学Ⅰ（漢方の基礎）	3後	2									
		漢方医学Ⅱ（漢方の応用）	4前	1									
		OTC医薬品概論	3後	2							3		
		化学系薬学実習Ⅰ（有機合成）	2前	1			1	2		2			
		化学系薬学実習Ⅱ（天然資源）	2後	1			1	2		2			
		物理系薬学実習	2後	1			2	1	1	1			
		生物系薬学実習	4前	1			3	1		1			
		分子生物学実習	3前	1			2	3	1				
		臨床検査医学実習	3後	1			5	1		1			
		衛生系薬学実習	3前	1			2		2	1			
		早期体験実習	1後	1			3		4	1			
		医療系薬学実習Ⅰ（調剤の基礎と情報収集）	3後	1			1		1		3		
		医療系薬学実習Ⅱ（調剤の実践と服薬指導）	4前	1			1		1		3		
		病院・薬局事前実習Ⅰ（実務実習に必要な基本的知識）	4前	2			1						
		病院・薬局事前実習Ⅱ（実務実習に必要な基本的技能）	4後	2			1						
		病院・薬局実務実習Ⅰ（主に病院での実習）	5通	10			1		1		3		
		病院・薬局実務実習Ⅱ（主に薬局での実習）	5通	10			1		1		3		
		総合薬学演習Ⅰ（主として物理・化学・生物・衛生）	6前	1			1	1	2	2			
		総合薬学演習Ⅱ（主として薬理・薬剤・病態・実務）	6後	1			3	1	1				
		卒業研究	5通	4			19	0	0	0			
小計(71科目)		－	140	0	0	21	8	6	7		兼3		
合計(155科目)		－	180	81	2	21	8	6	7	0	兼41		
卒業要件及び履修方法													
卒業要件 190単位													
①総合教育 必修24単位 (人間系4単位、社会系4単位、自然・情報系11単位、総合系1単位、外国語系4単位)													
②専門基礎 必修16単位													
③専門 必修140単位													
④総合教育科目・専門教育科目 選択10単位													

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・ 認可申請書又は設置届出書の様式第2号（その2の1）に準じて作成してください。
 - ・ 各欄の作成方法は「大学の設置等に係る提出書類作成の手引き」の「教育課程等の概要」を確認してください。
 - ・ 「認可時又は届出時」には 設置認可時又は届出時の授業科目全て（兼任、兼担教員が担当する科目を含む。）を黒字で記入してください。その上で、各年度については、認可時又は届出時から変更となっている箇所は**太字の赤字**としてください。
 - ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても科目名の後ろに「（未開講）」として記入してください。
 - ・ 1ページ目には認可時又は届出時と報告年度2つの表を記入してください。
 - ・ 不要な年度（平成30年度開設であれば平成29年度）の表は適宜削除してください。
- (2つの表が1ページに表示されるようにしてください。)
- ・ 専門職大学等の場合、「実験、実習又は実技による授業科目」には「【※】」、「臨地実務実習」による授業科目には「【臨】」、「連携実務演習」による授業科目には「【連】」を授業科目の名称の右側に記入してください。

(1) ②授業科目表に関する変更内容

【令和2年度】

- ・「倫理学」を「兼1」から「講師1」に変更（教育上の効果を考慮）。
- ・「化学」を「教授1」から「助教1」に変更（教員の負荷を考慮）。
- ・「数学」を「1後」から「1前」に変更（教育上の効果を考慮）。
- ・「情報処理」を「兼1」から「准教授1」に変更（教育上の効果を考慮）。
- ・「生命倫理」を「兼1」から「講師1」に変更（教育上の効果を考慮）。
- ・「英語講読1（Primary）」を「准教授1、兼1」から「准教授1」に変更（教育上の効果を考慮）。
- ・「英語CALL1（Primary）」を「准教授1、兼1」から「准教授1」に変更（教育上の効果を考慮）。
- ・「英会話」を「准教授1、兼1」から「准教授1」に変更（教育上の効果を考慮）。
- ・「医学英語Ⅰ（入門）」を「准教授1、兼1」から「准教授1」に変更（教育上の効果を考慮）。
- ・「医学英語Ⅱ（応用）」を「准教授1、兼1」から「准教授1」に変更（教育上の効果を考慮）。
- ・「微生物と病気」を「兼1」から「教授3、准教授2、講師1」に変更（負荷軽減）。
- ・「基礎薬学実習Ⅰ（物理）」を「教授2、准教授1、講師1、助教1」を「教授3、准教授1、講師1、助教1」に変更（教育上の効果を考慮）。
- ・「基礎薬学実習Ⅱ（生物）」を「教授1、准教授3」を「教授2、准教授3」に変更（教育上の効果を考慮）。
- ・「薬学概論」を「教授1」から「教授5、准教授3、講師2」に変更し、開講時期を「1後」から「1前」に変更（教育上の効果を考慮）。
- ・「分析化学Ⅰ（溶液中の化学平衡と滴定法）」を「教授1」から「兼1」に変更（教育上の効果を考慮。より専門であること）。
- ・「医薬品構造解析」を「教授1、講師1、助教1」から「教授1、講師1、助教2」に変更（追加採用による。教育上の効果を考慮）。
- ・「分子生物学Ⅰ（遺伝情報・細胞内情報伝達）」を「准教授1」から「准教授1、講師1」に変更（追加採用による。教育上の効果を考慮）。
- ・「分子生物学Ⅱ（細胞間コミュニケーション・遺伝）」を「准教授1」から「准教授1、講師1」に変更（追加採用による。教育上の効果を考慮）。
- ・「解剖生理学Ⅲ（消化器系、呼吸器系、泌尿器系）」を「教授4」から「教授5」に変更（追加採用による。教育上の効果を考慮）。
- ・「疾病と病態生理学Ⅲ（呼吸器系疾患、代謝性疾患等）」を「教授1、准教授1」から「教授1、准教授1、講師1」に変更（追加採用による。教育上の効果を考慮）。
- ・「臨床検査医学」を「教授1、准教授1」から「教授1」に変更（就任辞退による。教育上支障はない）。
- ・「薬物治療学Ⅰ（神経精神系疾患、内分泌系疾患等）」を「教授2」から「教授3」に変更（追加採用による。教育上の効果を考慮）。
- ・「薬物治療学Ⅱ（循環器系疾患、呼吸器系疾患等）」を「教授1」から「教授1、助教1」に変更（追加採用による。負荷軽減）。
- ・「薬物治療学Ⅲ（症例・病態解析）」を「教授4、准教授1」から「教授5、准教授1、講師1、助教1」に変更（追加採用による。負荷軽減）。
- ・「化学系薬学実習Ⅰ（有機合成）」を「教授1、准教授2、助教1」から「教授1、准教授1、助教2」に変更（就任辞退による。教育上の支障はない）。
- ・「化学系薬学実習Ⅱ（天然資源）」を「教授1、准教授2、助教1」から「教授1、准教授1、助教2」に変更（就任辞退による。教育上の支障はない）。
- ・「生物系薬学実習」を「教授3、准教授1」から「教授3、准教授1、助教1」に変更（追加採用による。教育上の効果を考慮）。
- ・「分子生物学実習」を「教授2、准教授3」から「教授2、准教授3、助教1」に変更（追加採用による。教育上の効果を考慮）。
- ・「臨床検査医学実習」を「教授4、准教授2」から「教授5、准教授1、助教1」に変更（追加採用・就任辞退による）。
- ・「早期体験実習」を「教授2、講師3」から「教授3、講師4、助教1」に変更（追加採用による。教育上の効果を考慮）。
- ・「総合薬学演習Ⅰ（主として物理・化学・生物・衛生）」を「教授1、准教授1、講師1」から「教授1、准教授1、講師2、助教2」に変更（追加採用による。教育上の効果を考慮）。

- (注) ・ 2(1) ① 授業科目表に記入された各年度における変更内容（配当年次の変更、専任教員等の配置の変更、授業科目名の変更、新規科目の追加など）を箇条書きで記入してください。変更がない年度は「特になし。」と記入してください。
- ・ 変更内容には、授業科目の未開講や廃止については記入しないでください。
 - ・ 不要な年度（平成30年度開設であれば平成29年度）の表は適宜削除してください。

(2) 授業科目数

設置時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計(A)	必修	選択	自由	計	
99 科目	54 科目	2 科目	155 科目	99 科目 []	54 科 []	2 科目 []	155 科目 []	

- (注) ・ 未開講科目も含めた教育課程上の授業科目数を記入するとともに、[] 内に、設置時の計画からの増減を記入してください。（記入例：1科目減の場合：△1）

(3) 未開講科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由、代替措置の有無
1	郷土論	2	1	一般	選択	新型コロナウイルス感染症の影響
2						
3						

- (注) ・ 配当年次に達しているにも関わらず、何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目については記入しないでください。
 - ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。
 - ・ 専門職大学等の場合は、「一般・専門」を「基礎、展開、職業専門、総合」と修正して記入してください。

(4) 廃止科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由、代替措置の有無
1						
2						
3						

- (注) ・ 設置時の計画にあり、何らかの理由で廃止（教育課程から削除）した授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」として記入してください。
 - ・ 専門職大学等の場合は、「一般・専門」を「基礎、展開、職業専門、総合」と修正して記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

「郷土論」については、地元の有識者をゲストとして招聘し、講義を行う予定であったが、新型コロナウイルス感染症拡大の影響で、大川市長や財界人などのゲストに招聘の見込みが立たなくなりました。次年度以降に開講し、学生が地元である大川市について理解を深めてもらう機会を設けたいと考えています。

- (注) ・ 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する大学の所見、学生への周知方法、今後の方針などを可能な限り具体的に記入してください。

(6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目(3)と廃止科目(4)の計}}{\text{設置時の計画の授業科目数の計(A)}} = \frac{1}{155} = \boxed{0.64} \%$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。
- ・ 「未開講科目と廃止科目の計」が、「(3) 未開講科目」と「(4) 廃止科目」の合計数となるように留意してください。

3 施設・設備の整備状況、経費

区 分		内 容				備考			
(1)校地等	区 分	専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用	計	大学全体			
	校 舎 敷 地	276,538 m ²	0 m ²	0 m ²	276,538 m ²				
	運動場用地	100,751 m ²	0 m ²	0 m ²	100,751 m ²				
	小 計	377,289 m ²	0 m ²	0 m ²	377,289 m ²				
	そ の 他	113,975 m ²	0 m ²	0 m ²	113,975 m ²				
	合 計	491,264 m ²	0 m ²	0 m ²	491,264 m ²				
(2) 校 舎		専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用	計	大学全体			
		223,203 m ² (189,135 m ²)	0 m ² (0 m ²)	0 m ² (0 m ²)	223,203 m ² (189,135 m ²)				
(3) 教 室 等		講 義 室	演 習 室	実験実習室	情報処理学習施設	語学学習施設	大学全体		
		216 室	194 室	327 室	24 室 (補助職員 8人)	10 室 (補助職員 0人)			
(4) 専任教員研究室		新設学部等の名称			室 数		大学全体		
		福岡薬学部			403 室				
(5)図書・設備	新設学部等の 名称	図 書 〔うち外国書〕 冊	学術雑誌 〔うち外国書〕 種	電子ジャーナル 〔うち外国書〕 点	視聴覚資料 点	機械・器具 点	標 本 点	大学全体	
	大学全体	231,359 [32,678] (191,759 [25,797])	4,943 [1,411] (4,623 [1,302])	7,837 [6,493] (7,837 [6,493])	6,383 (5,175)	130,816 (92,550)	2,195 (1,681)		
	計	231,359 [32,678] (191,759 [25,797])	4,943 [1,411] (4,623 [1,302])	7,837 [6,493] (7,837 [6,493])	6,383 (5,175)	130,816 (92,550)	2,195 (1,681)		
(6) 図 書 館		面 積		閱 覧 座 席 数		収 納 可 能 冊 数		大学全体	
		8,564 m ²		1,853 席		367,360 冊			
(7) 体 育 館		面 積		体育館以外のスポーツ施設の概要				大学全体	
		7,456 m ²		弓道場		テニスコート			
(8)経費の見積り及び維持方法の概要	経費の見積り	区 分	開設年度	完成年度	区 分	開設前年度	開設年度	完成年度	いずれも、主に契約金額の圧縮による
		教員1人当り研究費等	44,000 千円	6,000千円	図書購入費	17,391千円 44,000千円	6,000千円	6,000千円	
		共 同 研 究 費 等	339,031千円	3,500千円	設備購入費	264,209千円 339,031千円	275,400千円	3,500千円	
	学生1人当り 納付金	第1年次	第2年次	第3年次	第4年次	第5年次	第6年次		
		1,750 千円	1,630 千円	1,630 千円	1,630 千円	1,630 千円	1,630 千円		
	学生納付金以外の維持方法の概要			手数料収入、資産運用収入 等					

(注) ・ 設置時の計画を、申請書の様式第2号(その1の1)に準じて作成してください。(複数のキャンパスに分かれている場合、複数の様式に分ける必要はありません。なお、「(1)校地等」及び「(2)校舎」は大学全体の数字を、その他の項目はAC対象学部等の数値を記入してください。)

- ・ 運動場用地が校舎敷地と別地にある場合は、その旨(所要時間・距離等)を「備考」に記入してください。
- ・ 「(5)図書・設備」については、上段に完成年度の予定数値を、下段には令和2年5月1日現在の数値を記入してください。
- ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更のあったものについては、変更部分を赤字で見え消し修正するとともに、

その理由及び報告年度「（２）」を「備考」に赤字で記入してください。

なお、昨年度の報告において赤字で見え消した部分については、見え消しのまま黒字にしてください。

- ・ 校舎等建物の計画の変更（校舎又は体育館の総面積の減少、建築計画の遅延）がある場合には、「建築等設置計画変更書」を併せて提出してください。

なお、昨年度の報告において赤字で見え消した部分については、黒字で記入してください。

- ・ 国立大学については「（８）経費の見積り及び維持方法の概要」は記載不要です。

4 既設大学等の状況

大 学 の 名 称	国 際 医 療 福 祉 大 学									備 考	
既設学部等の名称	修業 年限	入 学 定 員	編入学 定 員	収 容 定 員	学位又 は称号	平均入学 定員 超過率	令和2年度 入学定員 超過率	定員変更年 度 (AC期間の 学科のみ)	開 設 年 度	所 在 地	
	年	人	年次 人	人		倍		年度	年度	年度	
医学部	6	140	-	840	-			-	平成29年度	-	
医学科	6	140	-	840	学士 (医学)	1.00	1.00	-	平成29年度	千葉県成田市公津の杜4丁目3番	
保健医療学部	4	535	-	2,180	-			-	平成7年度	-	
看護学科	4	115	-	460	学士 (看護学)	0.98	1.03	-	平成7年度	栃木県大田原市北金丸2600番1	
理学療法学科	4	100	-	400	学士 (理学療法 学)	0.99	1.00	-	平成7年度	同上	
作業療法学科	4	80	-	320	学士 (作業療法 学)	0.97	1.01	-	平成7年度	同上	
言語聴覚学科	4	80	-	320	学士 (言語聴覚 学)	1.03	1.08	-	平成7年度	同上	
視機能療法学科	4	50	-	200	学士 (視機能療法 学)	1.00	1.08	-	平成14年度	同上	
放射線 ・情報科学科	4	110	-	480	学士 (放射線・情報 科学)	1.01	1.06	-	平成7年度	同上	
医療福祉学部	4	140	5	570	-			-	平成9年度	-	
医療福祉・マシ ン学科	4	140	5	570	学士 (医療福祉 学)	0.98	1.07	-	平成9年度	同上	
					学士 (医療マシ ン学)						
薬学部	6	180	-	1,080	-			-	平成18年度	-	
薬学科	6	180	-	1,080	学士 (薬学)	1.05	1.01	-	平成18年度	同上	
小田原保健医療学部	4	200	-	800	-			-	平成18年度	-	
看護学科	4	80	-	320	学士 (看護学)	1.07	1.08	-	平成18年度	神奈川県小田原市城山一丁目2番25号	
理学療法学科	4	80	-	320	学士 (理学療法 学)	1.04	1.08	-	平成18年度	同上	
作業療法学科	4	40	-	160	学士 (作業療法 学)	1.03	1.05	-	平成18年度	同上	
福岡看護学部	4	100	-	400	-			-	平成20年度	-	
看護学科	4	100	-	400	学士 (看護学)	1.08	1.05	-	平成20年度	福岡県福岡市早良区百道浜1-7-4	
福岡保健医療学部	4	460	-	2400	-			-	平成17年度	-	
理学療法学科	4	60	-	320	学士 (理学療法 学)	1.09	1.06	-	平成17年度	福岡県大川市榎津137-1	
作業療法学科	4	40	-	160	学士 (作業療法 学)	1.03	1.00	-	平成17年度	同上	
言語聴覚学科	4	40	-	160	学士 (言語聴覚 学)	1.03	1.00	-	平成19年度	同上	
医学検査学科	4	80	-	320	学士 (医学検査 学)	1.09	1.21	-	平成25年度	同上	
福岡薬学部	6	120	-	720	-			-	令和2年度	-	
薬学科	6	120	-	720	学士 (薬学)	1.09	1.09	-	令和2年度	同上	

既設学部等の名称	修業 年限	入 定 員	編入学 定 員	収 容 定 員	学位又 は称号	平均入学 定員 超過率	令和2年度 入学定員 超過率	定員変更年 度 (AC期間の 学科のみ)	開 設 年 度	所 在 地	
成田看護学部	4	100	-	400	-			-	平成28年度	-	
看護学科	4	100	-	400	学士 (看護学)	1.09	1.08	-	平成28年度	千葉県成田市公津の杜4丁目3番	
成田保健医療学部	4	290	-	1,160	-			-	平成28年度	-	
理学療法学科	4	80	-	320	学士 (理学療法 学)	1.06	1.08	-	平成28年度	同上	
作業療法学科	4	40	-	160	学士 (作業療法 学)	1.06	1.05	-	平成28年度	同上	
言語聴覚学科	4	40	-	160	学士 (言語聴覚 学)	1.06	1.07	-	平成28年度	同上	
放射線・情報科 学科	4	50	-	200	学士 (放射線・情報 科学)	1.08	1.08	-	令和2年度	同上	
医学検査学科	4	80	-	320	学士 (医学検査 学)	1.06	1.07	-	平成28年度	同上	
赤坂心理・医療福祉 マネジメント学部	4	120	-	480	-			-	平成30年度	-	
心理学科	4	60	-	240	学士 (心理学)	1.08	1.03	-	平成30年度	東京都港区赤坂4丁目1-26	
医療マネジメン ト学科	4	60	-	240	学士 (医療マナジ メント学)	1.01	1.03	-	平成30年度	同上	
大学全体	-	2,385	5	11,030	-	-	-	-	平成7年度	-	

大 学 の 名 称	国 際 医 療 福 祉 大 学 大 学 院										備 考
既設学部等の名称	修業 年限	入 定 員	編入学 定 員	収 容 定 員	学位又 は称号	平均入学 定員 超過率	令和2年度 入学定員 超過率	定員変更年 度 (AC期間の 学科のみ)	開 設 年 度	所 在 地	
医療福祉学研究科 修士課程	年	人	年次 人	人	-	倍		年度	年度	年度	
	2	235	-	470	-	1.29	1.22	-	平成11年度	-	
保健医療学専攻	2	160	-	320	修士 (保健医療 学)	1.54	1.51	-	平成11年度	栃木県大田原市北金丸2600番1	
					修士 (看護学)			-			
					修士 (助産学)			-			
					修士 (言語聴覚 学)			-			
					修士 (生殖補助 医療学)			-			
					修士 (医療福祉教 育・管理学)			-			
					修士 (臨床検査 学)			-			
					修士 (災害医療 学)			-			

既設学部等の名称	修業 年限	入 学 定 員	編入学 定 員	収 容 定 員	学位又 は称号	平均入学 定員 超過率	令和2年度 入学定員 超過率	定員変更年 度 (AC期間の 学科のみ)	開 設 年 度	所 在 地	
医療福祉経営専攻	2	50	-	100	修士 (遺伝カウ ンセリング 学) 修士 (医療福祉 学) 修士 (診療情報 管理学) 修士 (医療ビジネ ス経営学) 修士 (医療福祉 管理学) 修士 (介護福祉・ ケアマネジメント 学) 修士 (自立支援 介護学) 修士 (自立支援 実践ケアマネジメント 学) 修士 (医療福祉 ジャーナリス ム 学) 修士 (医療通 訳・国際医 療マネジメント 学) 修士 (臨床心理 学)	1.34	1.20	-	平成13年度	同上	
臨床心理学専攻	2	25	-	50	修士 (臨床心理 学)	1.00	0.96	-	平成19年度	同上	
医療福祉学研究科 博士課程	3	70	-	210	-	1.29	1.14	-	平成13年度	-	
保健医療学専攻	3	70	-	210	博士 (保健医療 学) 博士 (看護学) 博士 (助産学) 博士 (言語聴覚 学) 博士 (生殖補助 医療学) 博士 (臨床検査 学)	1.29	1.14	-	平成13年度	同上	

既設学部等の名称	修業 年限	入 学 定 員	編入学 定 員	収 容 定 員	学位又 は称号	平均入学 定員 超過率	令和2年度 入学定員 超過率	定員変更年 度 (AC期間の 学科のみ)	開 設 年 度	所 在 地	
					博士 (医療福祉 経営学)			—			
					博士 (医療福祉 学)			—			
					博士 (診療情報 管理学)			—			
					博士 (介護福祉・ ケアマネジメント 学)			—			
					博士 (臨床心理 学)			—			
					博士 (医療福祉 ジャーナリズム 学)			—			
薬科学研究科 修士課程	2	5	—	10	—	0.10	0.20	—	平成22年度	—	
生命薬科学専攻	2	5	—	10	修士 (薬科学)	0.10	0.20	—	平成22年度	同上	
薬学研究科 博士課程	4	5	—	20	—	0.70	0.80	—	平成24年度	—	
医療・生命薬学 専攻	4	5	—	20	博士 (薬学)	0.70	0.80	—	平成24年度	同上	
医学研究科 修士課程	2	10	—	20	—	1.70	2.00	—	平成30年度	—	
公衆衛生学専攻	2	10	—	20	修士 (公衆衛生 学)	1.70	2.00	—	平成30年度	千葉県成田市公津の杜4丁目3番	
医学研究科 博士課程	4	20	—	80	—	1.03	0.90	—	平成30年度	—	
医学専攻	4	20	—	80	博士 (医学)	1.03	0.90	—	平成30年度	同上	
大学院全体	—	345	—	810	—	1.02	1.04	—	平成11年度	—	

- (注) ・本調査の対象となっている大学等の設置者が既に設置している全ての大学（大学院含む）、短期大学及び高等専門学校についてそれぞれの学校ごとに、報告年度の5月1日現在の状況を記入してください。
(専攻科及び別科を除く)。
- ・学部の学科または研究科の専攻等、「入学定員を定めている組織」ごとに全ての組織を記入してください。
※「入学定員を定めている組織」ごとには、課程認定等によりコース・専攻に入学定員を定めている場合を含めます。履修上の区分としてコース・専攻を設けている場合は含めません。
 - ・本年度AC対象となる学部等については、必ず下線を引いてください。
 - ・「平均入学定員超過率」の考え方は「大学設置等に係る提出書類の作成の手引き（平成31年度改訂版）」と同じです。
 - ・「備考」の欄については、学年進行中の入学定員の増減や学生募集停止など、収容定員に影響のある情報を記入してください。

6 附帯事項等に対する履行状況等

区 分	附 帯 事 項 等	履 行 状 況	今後の の実施計画
認 可 時 (令和元年)	該当なし		

- (注) ・ 「認可時」には、認可時または届出時に付された附帯事項（学校法人の寄附行為又は寄附行為変更の認可の申請に係る附帯事項を除く。） と、それに対する履行状況等について、具体的に記入してください。
- ・ 「設置計画履行状況調査時」には、当該年度の調査の結果、**当該大学に付された指摘を**全て記入するとともに、付された指摘に対する履行状況等について、具体的に記入してください。その履行状況等の参考となる資料があれば、添付してください。
 - ・ 「履行状況」では、履行中であれば「履行中」、履行が完了していれば「履行済」を選択してください。
 - ・ 該当がない場合には、「附帯事項等」の部分に「該当なし」と記入してください。
 - ・ 「設置計画履行状況調査時」には、当該調査の実施年度の年を記入してください。

7 その他全般的事項

<福岡薬学部 薬学科>

(1) 設置計画変更事項等

設 置 時 の 計 画	変更内容・状況、今後の見通しなど
早期体験実習について	早期体験実習における「薬局」での見学実習について、病院・薬局実務実習九州・山口地区調整機構より、各校の円滑な実習施設配分を促進するため、実務実習と同様に機構内で調整するとの指導があり、これに沿って見学実習を行うこととした。

(注) ・ 1～6の項目に記入した事項以外で、設置時の計画より変更のあったもの（未実施を含む。）及び法令適合性に関して生じた留意すべき事項について記入してください。

(2) 教員の資質の維持向上の方策（FD・SD活動含む）

① 実施体制 a 委員会の設置状況 1) 大学全体のFD委員会の活動（FD委員長会議） 本学には6つのキャンパスがあるが、各キャンパスには同じようにFD委員会が組織されている。各キャンパスのFD委員長は、年に数回会議をもち、全学一体となって取り組むべきFD活動や年2回開催される合同教員研修会について議論している。 2) 大川キャンパスにおけるFD委員会の活動 福岡薬学部が設置されている大川キャンパスでは、キャンパス全体でFD委員会を開催している。FD委員会には大川キャンパスに設置されている福岡保健医療学部（理学療法学科、作業療法学科、言語聴覚学科、医学検査学科）の各学科及び福岡薬学部より、1名ずつ委員が選出され、大川キャンパス内のFD活動に関する取り組みを議論している。 3) 福岡薬学部のFD委員会活動 福岡薬学部においても学部内FD活動促進のため、福岡薬学部FD委員会を設置した。福岡薬学部では教員の教育手法の向上にとどまらず、成績評価に関する分析、薬剤師国家試験解析や対策に関する指導方法、学生の修学における援助方法など、さまざまな課題について福岡薬学部FD委員会を中心にPDCAサイクルを確立し、実施していくこととしている。 b 委員会の開催状況（教員の参加状況含む） 大川キャンパス委員会は毎月1回程度開催される。委員会には、毎回ほぼ全員が参加している。 福岡薬学部FD委員会は毎月1回程度開催される。 c 委員会の審議事項等 ミニFD（教員の教育等への取り組みに関する発表会）の企画、運営について 合同教員研修会の企画、運営について 授業評価アンケートの実施及び集計やフィードバックの在り方について 学生が選ぶグッドティーチング賞に関する事項 教育手法等の研鑽に関する機会についての事項	
--	--

（次頁につづく）

a 実施内容

1. 全学合同で実施する教員研修会の実施（年2回）。
2. 大川キャンパスでは、毎月1回教員の教育等に関する取り組みを発表する機会を設けている。
3. 教員相互の授業参観。
4. 新任教員のための研修会
5. 授業評価アンケート
6. 本学事務職員に対する研修（SD）

b 実施方法

- ・ 合同教員研修会（a-1）では、FD諸活動における関心の高い事項について、講演を中心とした研修を実施している。
- ・ 大川キャンパスの発表（a-2）では、グッドティーチング賞受賞者など学生の授業評価が高い教員が、自らの授業上の工夫について発表する機会を設けている。
- ・ 授業評価アンケートは、大川キャンパスにおいて100%実施されている。
- ・ 本学では、主に若手の事務職員に対して、年に2回の研修を実施し、大学や大学に関連する法規、並びに本学グループに関連する医療福祉に関する事項、関連する法規等に関する講義を実施している。（a-3）
また、新入職員に対しては、業務の一環として外部の研修に派遣している。

c 開催状況（教員の参加状況含む）

- ・ 合同教員研修会は、年に2回（8月・3月）開催され、出席が義務となっている。昨年度の出席率は81.6%であったが、これは授業等の都合でやむを得ず欠席となったものであり、後日録画配信される動画を視聴している。
- ・ 各種研修会や発表会で得られた知見を教育活動に反映する取り組みが実施されている。
- ・ 授業科目ごとに授業評価アンケートの集計結果を、各科目の担当教員に配布し、フィードバックしている。教員はこの結果をもとに授業の改善に取り組んでいる。
同じものが学科長にも報告されており、結果によっては、学科長と当該教員が話し合いながら、改善策を講じている。

③ 学生に対する授業評価アンケートの実施状況

a 実施の有無及び実施時期

- ・ 授業評価アンケートは全ての科目で実施している。授業の最終回に学生にアンケートを回答してもらっている。

b 教員や学生への公開状況、方法等

教員に対しては、科目ごとの集計結果について、すべて公表している。
全体の集計結果については、学内のシステム上に掲示し、学生が自由に閲覧できるよう措置している。

（注）・「①a 委員会の設置状況」には、関係規程等を転載又は添付すること。

「②実施状況」には、実施されている取組を全て記載すること。（記入例参照）

(3) 教育課程連携協議会に関する事項

※専門職大学、専門職短期大学、専門職大学院以外は「該当なし」と記入ください。

① 体制

a 委員会の設置状況

(委員に変更がある場合は、その内容と各区分を踏まえた委員構成であることを説明してください。

併せて、別途委員名簿を変更内容が分かるよう加筆の上、提出してください。)

該当なし

b 委員会の開催状況(回数や開催日など)

該当なし

c 委員会の審議事項等

該当なし

d その他

該当なし

② 審議状況

a 審議した内容

該当なし

b 教育課程連携協議会が審議した内容を踏まえた大学での教育課程への見直し状況

該当なし

c 教育課程連携協議会が審議した内容を踏まえた大学での教育課程への反映状況

該当なし

(4) 自己点検・評価等に関する事項

① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見

本学は、建学以来、病気や障害を持つ人も健常な人もお互いを認めあう「共に生きる社会」の実現を教育理念に掲げ、また21世紀の健康、医療、福祉を担うことができ、広い視野と国際性を身につけた人材の育成を教育目標としている。この理念・目標に沿って、より実践的な専門職教育を実現する方策の一つとして、実習教育を重視し、①臨床実習を体験する前の早い時期に病気や障害をもつ人と交流体験を通して様々な人々が共に生活する社会を学生に実感させる ②大学における知識・理論の講義と臨床現場での臨床実習を一体化させる ③チーム医療の成熟 を目指して、教育研究活動に取り組んでいる。

このような本学の特色を生かしつつ、薬学部においては、薬学の基礎から臨床応用までの講義、実習・演習を有機的に構成したカリキュラムによる教育に加え、本学の医療福祉系学部との共通カリキュラムによる医療人としての教育、さらに関連医療福祉施設における臨床実習により、高度な専門性を備え、医療人としてチーム医療に貢献できる人間性、社会性、国際性豊かな薬剤師を養成する全人教育を行うことを目指している。

これらを具体的実現するため、開設初年度にあたる今年度は次のような取り組みを行っている。

1. 入学前教育の実施

薬学教育に必要な基礎学力の維持・向上を目的とし、入学前課題を課した。

2. オリエンテーションの実施

入学者に対してオンラインによるオリエンテーションを実施した。オリエンテーションでは、早期の学習習慣の確立の重要性を説明、これからの学修目標の設定や修学の記録や振り返り方について説明した。また、福岡薬学部のカリキュラムポリシーやディプロマポリシーを踏まえたうえで、カリキュラムの説明を行い、履修方法を指導した。

なお、新型コロナウイルス感染症の拡大に伴い、第1期生である福岡薬学部の学生も新学期にも関わらず登校できない状況が続いている。本学では、オンライン授業の充実や、インターネットのコミュニケーションツールを用いての個別面談など指導に力を入れているものの、登校できない学生の皆さんは今後に大きな不安を抱えている。本学としては、感染症の収束を見据え、学生の不安を和らげ、また円滑な学修活動の遂行のため、力を尽くしたいと考えている。

最後に、開設に先立ち実施された入学試験において1296名の薬剤師を目指す生徒の皆さんの出願を得、入学試験の結果、晴れて131名の学生が本学に入学した。開設初年度にも関わらず、これだけ多くの受験生に出願してもらえたのは、本学の基本理念や、これまでの薬学教育に対する取り組み、国家試験の状況、福岡薬学部における育成方針などについて十分に理解が進み、浸透した成果であると考えている。今年度以降も引き続き、努力していきたいと考えている。

② 自己点検・評価報告書

a 公表（予定）時期

大学全体として平成29年度に、27～29年度を対象期間として3つのポリシー点検や国際交流のさらなる進展などをテーマに自己点検・評価を行った。報告書は平成30年5月に公表済みである。

b 公表方法

大学ホームページに掲載するほか、関係する自治体・図書館・他大学などに報告書を配付し、本学への外部からの意見の収集に努める。

③ 認証評価を受ける計画

令和3年度に公益財団法人日本高等教育評価機構による大学機関別認証評価を受ける予定。

(注) ・ 設置時の計画の変更(又は未実施)の有無に関わらず記入してください。

また、「① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見」については、できるだけ具体的な根拠を含めて記入してください。

なお、「② 自己点検・評価報告書」については、当該調査対象の組織に関する評価内容を含む報告書について記入してください。

(5) 情報公表に関する事項

○ 設置計画履行状況報告書(令和2年度)

a 公表予定の有無 [☒ 有 ・ ☐ 無]

《aで「有」の場合》

b 公表(予定)時期 [☒ 調査結果公表後1ヶ月以内 ・ ☐ 公表後2～3ヶ月以内 ・ ☐ 公表後3ヶ月以降]

c 公表方法 [☒ ウェブサイトへの掲載 ・ ☐ その他()]

《aで公表「無」の場合》

d 公表しない理由 []

※設置計画が各大学等が社会に対して着実に実現していく構想を表したものであることに鑑み、

設置計画履行状況報告書については、各大学等のウェブサイト公表するなど、積極的な情報提供をお願いします。